

# 第3期スポーツ基本計画の実施状況の検証・評価スケジュール（案）

資料5-1

【3月】

## ①計画の実施状況の検証・評価（概要）

- ・ロジックモデルの確認・必要に応じた見直し
- ・計画記載の数値目標を確認しつつ、それまでの実施状況の概要を評価。
- ・今後の取組や事業の方向性について、審議会の意見を聴く。

【4月】

経済・財政一体改革委  
エビデンス整備プラン※  
1の改定

②  
審議会の意見を踏まえ、実施状況について  
詳細に検証・評価を実施

【4～5月】

文部科学省政策評価に  
関する有識者会議から  
の助言※2

【6～7月】

## ③計画の実施状況の検証・評価（詳細）

- ・計画記載の数値目標を確認しつつ、前年度の実施状況の詳細を評価。
- ・上記①の審議会における指摘事項を踏まえた今後の取組や事業の方向性について報告・確認

【10月】

エビデンス整備プランの  
進捗確認

④  
取組を改善し継続  
次年度予算の準備・執行  
評価に必要なデータ等を整理

※1 経済財政諮問会議のEBPMアドバイザーボードにおいて、新経済・財政再生計画改革工程表の改善に向けて、①改革工程表の「政策目標」・「KPI」等のつながり（ロジック）の検証、②必要なエビデンスの構築、のための取組・工程等を示すもの（新経済・財政再生計画の対象期間である2025年までを予定）

※2 文部科学省が行う政策評価の客観的かつ厳格な実施を確保するため、政策の特性に応じて学識経験者の知見の活用を図ることを目的として開催される政策評価に関する有識者会議。

## 【文教・科学技術：3. 民間資金等の一層の活用によるスポーツの普及・発展】

### 1. 政策体系の概要

政策目標：東京オリンピック・パラリンピック大会のレガシーを継承し、全ての国民が気軽にスポーツできる環境を整備し、スポーツの価値を実感できる社会を実現するとともに、民間資金等の一層の活用により、スポーツの成長産業化・地域スポーツの普及・発展を図る。

○スポーツ実施率の向上【成人や障害者の週1回以上のスポーツ実施率：2026年度に70%、40%】

KPI第2階層

KPI第1階層

○スポーツを通じた健康増進への貢献  
【成人の1回30分以上の軽く汗をかく運動を週2回以上、1年以上継続して実施する運動習慣者の割合の増加】  
○スポーツ市場規模の拡大  
【2025年までに15兆円】

○身近なスポーツ環境の整備  
幼児期から大人、障害者も含めて多様な主体が参加できる総合型地域スポーツクラブ等の整備状況  
○スポーツを通じた健康増進  
「Sport in Life」コンソーシアムにおけるスポーツを通じた健康増進に係る取組状況（加盟団体数）  
○スポーツ健康まちづくりに取り組む自治体の状況  
○まちづくりや地域活性化の優れた拠点として選定されたスタジアム・アリーナ数

### 2. 狙い

スポーツの振興を通じた、健康増進や地域・経済発展への寄与

### 3. 具体的な検証項目

担当府省	対象施策	工程表の箇所	確認するエビデンス等	予定	必要なデータ例
3 文科省	スポーツ政策	文教3 (p113)	○健康 スポーツと健康の関係、スポーツ実施促進の効果的な方法等 ○経済・社会 スポーツ市場規模15兆円の達成状況とその政策的効果の検証	第三期基本計画を3月25日に策定。並行して政策目標等の数値目標などをもとに整理されたロジックモデルのイメージをもとに、データの収集を行い、今後、令和5年度初頭目途のFU実施に向けた準備を進める。また、計画の中間評価年度には、成果の中間的な検証を予定。	(健康関係) ・成人の週1回30分以上の軽く汗をかく運動を週2回以上、一年以上継続して実施する状況の変化がわかる(地方創生関係) ・スポーツ健康まちづくりに取り組む自治体の状況の変化のわかるデータ(経済関係) ・スポーツ市場規模の毎年の状況

# 東京大会を踏まえた今後のスポーツ政策の基本的な方向性とロジックモデル (イメージ)

第三期基本計画を踏まえ、今後のスポーツ政策の基本的方向性として、新型コロナウイルス感染症への影響への対応、東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催の成果の継承の観点から、多くの国民が、スポーツに参画し、スポーツの持つ「楽しさ」「喜び」などに触れることを目指し、スポーツ実施率の向上を図っていく。併せて、スポーツを通じた健康増進や共生社会の実現、持続可能な国際競技力向上の取組、スポーツ活動の基盤となるインテグリティの推進、スポーツ健康まちづくりや経済活性化など、社会の活力向上に向けた取り組みを推進する。

## インプット(予算事業)

【東京大会を契機とした共生社会の実現、多様な主体によるスポーツ参画の実現】

- 子どもの体力向上及び持続可能な運動部活動の推進
- Sport in Life 推進プロジェクト
- 運動・スポーツ習慣化促進事業
- 障害者スポーツ推進プロジェクト

【東京大会のレガシーを継承した持続可能な競技力向上体制の構築】

- 競技力向上事業
- ドーピング防止活動推進事業
- ポストスポーツ・フォー・トゥモロー推進事業

【スポーツDXの推進、スポーツ団体の組織基盤の強化】

- スポーツテクノロジー活用推進事業
- 競技団体の組織基盤強化支援事業
- スポーツインテグリティ推進事業

【スポーツを通じた社会課題の解決】

- スポーツ産業の成長促進事業
- スポーツを活用した地方創生

## アクティビティ(取組)

- 多様な主体によるスポーツ機会の創出、健康増進、共生社会の実現
  - ・体育授業の改善、全ての子供の運動機会の創出や体力向上の取組
- 多様な主体によるスポーツ実施、運動習慣の形成の推進
  - ・身近な地域におけるスポーツ環境の整備・充実
  - ・スポーツ施設における指定管理者制度の柔軟な運用など、民間資金・ノウハウを活用した取り組みの推進
  - ・健康増進に係るエビデンスや情報等の積極的な発信
  - ・安全・安心なスポーツの取組

- 国際競技力向上の推進
  - ・各競技団体等におけるアスリートの発掘・育成・強化のための取組の支援
- スポーツの国際交流・協力
  - ・国際競技団体(IF)等人材の活動・育成支援
  - ・ドーピング防止教育の充実や検査体制の強化
  - ・二国間交流(ポストスポーツ・フォー・トゥモロー等)の推進

- スポーツDXの推進
  - スポーツ界における先進デジタル技術やデータ活用の推進
- スポーツ団体のガバナンス改革、インテグリティの推進
  - ・ガバナンス・コンプライアンス確保
  - ・スポーツ仲裁に係る取組

- スポーツを通じた経済活性化・地方創生
  - ・スタジアムアリーナ改革の推進
  - ・スポーツ・オープンイノベーションプラットフォームの構築
  - ・スポーツを通じた地方創生の取り組みの推進

## アウトプット

- ・一週間の総運動時間の状況
- ・指導者等の人材育成計画を策定した団体数
- ・多様な主体によるスポーツ実施、運動習慣の形成等の取組状況
- ・総合型地域スポーツクラブの登録・認証制度の開始
- ・公立スポーツ施設の利用状況
- 「Sport in Life コンソーシアム」への加盟団体数
- ・スポーツ事故の減少に向けた取組状況

- ・統括責任者を含む指導者・スタッフの育成・配置状況
- ・次世代アスリートの発掘・育成の取組状況
- ・スポーツ医・科学、情報等による支援の実施状況
- ・IF等の日本人役員数の増加・維持
- ・ポストスポーツ・フォー・トゥモローの達成数
- ・ドーピング防止研修や検査員育成の取組状況

- 先進事例や新たなビジネスモデルの創出
- ・ガバナンスコードの遵守状況
- ・各NFでのスポーツ仲裁に係る紛争解決制度の整備

- ・地域・経済活性化の拠点となるスタジアム・アリーナ及びイノベーションプラットフォームの形成状況
- ・スポーツ健康まちづくりに取り組む自治体の状況

## 初期アウトカム

- ◆誰もがスポーツに参画でき、共に活動できる社会
  - ・小中学生の運動能力の向上
  - ・将来的にスポーツする時間をもちたい小中学生の増加
  - ・定期的にスポーツを実施する成人・障害者の増加
  - ・1週間に30分以上の軽汗をかく運動を2回以上実施している運動習慣者の割合の増加
  - ・スポーツ団体における女性幹部の登用(40%)
- ◆国際競技力の向上、国際的なプレゼンスの向上
  - ・オリンピック・パラリンピック等の国際競技大会における過去最高水準の金メダル数、総メダル数、入賞者数、メダル獲得競技数
  - ・国際競技大会の招致・開催
  - ・公正・公平なドーピングのないスポーツの実現
- ◆スポーツを支える基盤の確保
  - ・スポーツ団体の経営力強化
  - ・スポーツ関係者のコンプライアンス違反や体罰、暴力等の根絶
  - ・すべてのNFに加えより多くのスポーツ団体がスポーツ仲裁の自動応諾条項を採択する等、適切な紛争解決制度の構築
- ◆スポーツを通じて社会に活力を与える
  - ・地域・経済活性化の拠点となるスタジアムアリーナ数(2025年までに20拠点)
  - ・スポーツ健康まちづくりに取り組む自治体数(40%)

※ 令和4年度予算案をもとに作成

初期アウトカムの状況を分析し、効果検証を行いながら、インプット及びアクティビティを改善

## 中長期アウトカム

○スポーツ実施率向上(週一回の運動実施率：成人70%、障害者40%)などスポーツ参画人口の更なる拡大、スポーツを通じた国際交流・協力の増大、スポーツを通じた我が国の社会・経済の活性化(2025年までに15兆円の達成)

## インパクト

共生社会の実現・健康寿命向上・GDP向上・地方創生などへの寄与。国際的なプレゼンスの向上

# 政策評価体系の見直しについて

- 第3期スポーツ基本計画（計画期間:令和4年4月より5年間）に掲げられた諸課題に対応するため、文部科学省政策評価基本計画において定められる「文部科学省の使命と政策目標」（以下「政策評価体系」という。）及び予算書・決算書の「項」・「事項」の見直しを行うもの。
- 見直しに当たっては、第3期計画の体系と政策評価体系を整合させることで効果的なフォローアップの実施が可能となるようにする。
- 施策目標下の各達成目標・測定指標についても、とりまとめ課において第3期計画の目標・指標等と可能な限り整合を取ることとする。

## 【旧体系】

### 政策目標11 スポーツの振興

世界共通の人類の文化の一つである、スポーツの振興により、生涯スポーツ社会の実現に向けて地域におけるスポーツ環境を確保するとともに、わが国の国際競技力を向上させ、子どもから大人まで心身ともに健全な明るく豊かで活力のある社会を実現する。

#### 施策目標11-1

スポーツを「する」「みる」「ささえる」スポーツ参画人口の拡大と、そのための人材育成・場の充実施策

#### 施策目標11-2

スポーツを通じた活力があり絆の強い社会の実現

#### 施策目標11-3

国際競技力の向上に向けた強力で持続可能な人材育成や環境整備

#### 施策目標11-4

クリーンでフェアなスポーツの推進によるスポーツの価値の向上

## 【新体系】

### 政策目標11 スポーツの振興

世界共通の人類の文化の一つである、スポーツの振興により、生涯スポーツ社会の実現に向けて地域におけるスポーツ環境を確保するとともに、わが国の国際競技力を向上させ、子どもから大人まで心身ともに健全な明るく豊かで活力のある社会を実現する。

#### 施策目標11-1

東京大会を契機とした共生社会の実現  
多様な主体によるスポーツ参画の実現

#### 施策目標11-2

東京大会のレガシーを継承した持続可能な競技力向上体制の構築

#### 施策目標11-3

スポーツDXの推進、スポーツ団体の組織基盤の強化

#### 施策目標11-4

スポーツを通じた社会課題の解決

## 【第3期計画】

### 第3章 今後5年間に総合的かつ計画的に取り組む施策

- ①多様な主体におけるスポーツの機会創出
- ②スポーツ界におけるDXの推進
- ③国際競技力の向上
- ④スポーツの国際交流・協力
- ⑤スポーツによる健康増進
- ⑥スポーツの成長産業化
- ⑦スポーツによる地方創生、まちづくり
- ⑧スポーツを通じた共生社会の実現
- ⑨スポーツ団体のガバナンス改革・経営力強化
- ⑩スポーツ推進のためのハード、ソフト、人材
- ⑪スポーツを実施する者の安全・安心の確保
- ⑫スポーツ・インテグリティの確保

障害者  
スポーツ

成長産業化